corega

FPServerII

取扱説明書

http://corega.jp/

作業を開始する前に「作業の流れ」を参照してください(☞ p.4)

PN J613-M7326-00 Rev.B 020930

はじめに

この度は100M/10M対応プリントサーバー「corega FPServerII」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は本製品を正しくご利用いただくための手引きです。
必要な時にいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール作業を行うパソコン機種として「AT互換機/PC98-NXシリーズ」を想定しています。
またドライブ名として下記を仮定して説明します。
使用するパソコンのドライブ名が本書の記述内容と異なる場合は、読み替えてください。

- ・フロッピーディスクドライブ .... A:
- ・起動ドライブ(ハードディスク) .... C:
- ・CD-ROM ドライブ .... D:

本製品の最新情報

本製品に関する最新情報(ファームウェアのバージョンアップ情報など)は、コレガホームページでお知らせします。
無線LANに関する情報や活用例などもご紹介していますので、是非、コレガホームページをご覧ください。

コレガホームページ　http://corega.jp/

本書の読みかた

各ページの構成と記号について説明します。

章見出し

中見出し

小見出し

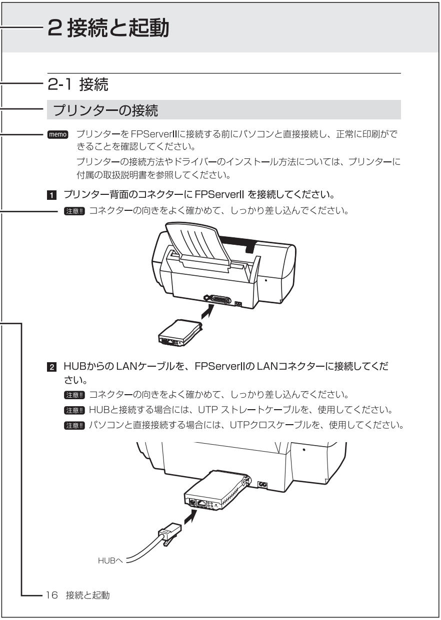
メモ

補足事項や知っていただきたい内容です。

注意

操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。

ページ



2 接続と起動

2-1 接続

プリンターの接続

memo プリンターを FPServerIIに接続する前にパソコンと直接接続し、正常に印刷ができることを確認してください。

プリンターの接続方法やドライバーのインストール方法については、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

1 プリンター背面のコネクターに FPServerII を接続してください。

注意!! コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

2 HUBからの LANケーブルを、FPServerIIの LANコネクターに接続してください。

注意!! コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

注意!! HUBと接続する場合には、UTP ストレートケーブルを、使用してください。

注意!! パソコンと直接接続する場合には、UTPクロスケーブルを、使用してください。

16　接続と起動

memo このページは、取扱説明書の読み方を説明しています。
実際のページ内容とは異なります。

作業の流れ

本製品を使用するには、設定作業が必要です。
およそ以下のような流れで設定作業を行ってください。

「1.製品の概要」
FPServerIIの概要を確認してください

「2.接続と起動」
FPServerIIとプリンター、パソコンを接続し起動してください

簡単設定編

「3.簡単に印刷する」
FPServerIIの設定を変更せず、簡単に印刷を行う場合に参照してください。

詳細設定編

「4.本製品の設定」
「5.その他の印刷方法」
「6.その他の機能」
FPServerIIの設定を変更して使用したい場合や「3.簡単に印刷する」以外の方法で印刷を行う場合に参照してください。

「7.トラブルシューティング」
FPServerIIを使用中にトラブルがあった場合などに、必要に応じて参照してください。

「付録」
FPServerIIを使用する際の予備知識等を説明しています。
必要に応じて参照してください。

目　次

1 製品の概要

1

1-1 特長

corega FPServerII(以下「FPServerII」と略します)は、次の特長を持つ、プリントサーバーです。

・ 小型軽量のため、プリンターのポートに直接接続することができます。
・ 100M/10M の Ethernet に対応しています。
・ LPR ソフトウェアが標準で添付(WindowsMe/98/95 用)されています。
・ AppleTalk プロトコル(EtherTalk)に対応しているため、Apple 社製 Macintosh(以下「Macintosh」と略します)から利用できます。

注意!! Macintosh では PostScript プリンターでのみ使用できます。

1-2 動作環境

・ 対応プロトコル
NetBEUI、TCP/IP、AppleTalk

注意!! WindowsXP は NetBEUI プロトコルに対応していません。

・ 対応 OS
Windows Me/98/95/NT4.0/2000/XP Professional(32bit)・Home Edition/Mac OS 9.x 以上 /Mac OS X(10.1 以上)

注意!! Mac OS 9.x では AppleTalk のみ対応しています。

注意!! プリンター自体が対応している OS でのみ使用できます。

・ 対応プリンター
セントロニクス社仕様に準拠したアンフェノール36ピンポートを備えたプリンターに対応しています。

注意!! 双方向通信機能については、各プリンターで独自の仕様になっているため、対応ていません。

1-3 印刷環境

・ プロトコル

FPServerII に接続したプリンターで印刷を行う場合は、FPServerII とパソコンが、TCP/IP、NetBEUI、または AppleTalk のいずれかで通信できる必要があります。

memo Mac OS から印刷を行う場合は、AppleTalk での印刷となります。

・ OS

FPServerII は、TCP/IP 上で動作するネットワーク印刷プロトコルである LPR に対応しています。
したがって多くの OS から印刷が可能です。
本書では、特に Windows 系の OS と、Mac OS から印刷を行う際の、設定について説明します。
なお、各 OS のバージョンによって設定内容が異なります。

memo WindowsMe/98/95から印刷を行う場合は、ユーティリティーCD-ROMに格納されている LPR PLUS を使用してください。

・ プリンター

事前にパソコンにプリンターを接続し、正常に印刷ができることを確認してください。

memo プリンターの接続、及びプリンタードライバーのインストールについての詳細は、プリンター付属の取扱説明書を参照してください。

memo AppleTalkを利用して印刷する場合は、PostScriptプリンターのみ対応しています。

1-4 ユーティリティー CD-ROM

ユーティリティー CD-ROM には、WindowsMe/98/95 用の LPR ソフトである LPR PLUS が格納されています。
WindowsMe/98/95でTCP/IPを使用して印刷を行う場合は、LPR PLUSをインストールしてください。

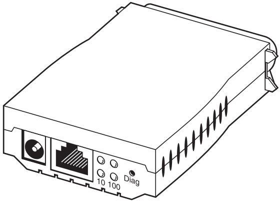
memo WindowsXP/2000/NT4.0 では、LPR 機能が標準で搭載されています。
詳細については、マイクロソフト社に問い合わせてください。

1-5 パッケージの確認

本製品パッケージの内容は次のとおりです。

memo　下記以外に添付紙が同梱される場合があります。

商品についてご確認いただき、万一不足するものなどがありましたら、お手数ですがお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。



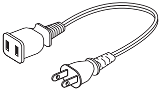
□ corega FPServerII 本体×１台



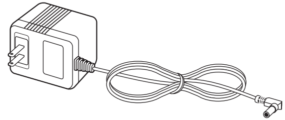
□ 取扱説明書×1 冊



□ ユーティリティーCD-ROM×1 枚



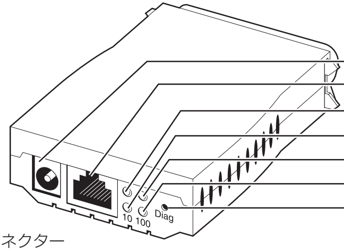
□ 延長用電源ケーブル×1 本



□ AC アダプター×1 個

□ 製品保証書

1-6 各部の名称と機能



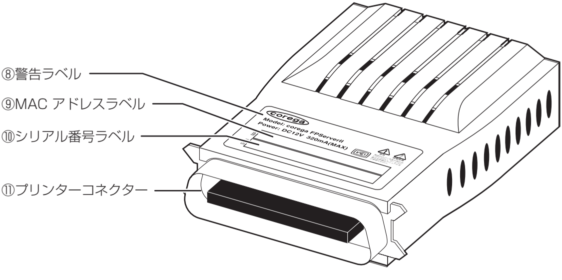
① 電源コネクター
AC アダプターを接続してください。

② LAN コネクター
LAN に接続するための、LAN ケーブルを接続してください。

③ STATUS LED(緑)	電源の状態を確認できます。 点灯：プリンターへの印刷が可能な状態 消灯：プリンターが接続されていない状態
④ 10 LED(橙)	LAN の通信状態を確認できます。 点灯：10Mbps で LAN に接続されている状態 消灯：LAN に接続されていないか、 または 100Mbps で接続されている状態
⑤ ERROR LED(赤)	エラーの状態を確認できます。 点灯：プリンターが接続されていないか、 または、プリンターの電源が入っていない状態 消灯：正常に動作している状態
⑥ 100 LED(橙)	LAN の通信状態を確認できます。 点灯：100Mbps で LAN に接続されている状態 消灯：LAN に接続されていないか、 または 10Mbps で接続されている状態

⑦ Diag ボタン
Diagボタンを押したまま電源をONにすることで、設定内容を初期化することができます。

memo 初期化を行った場合、FPServerII の POWER LED が一旦点灯して消え、続いて STATUS LED が点灯して消えます。



⑧ 警告ラベル
本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されています。
必ずお読みください。

⑨ MAC アドレスラベル（マックアドレスと読みます）
本製品の MAC アドレスが記入されています。

⑩ シリアル番号ラベル
本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。
シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへ問い合わせていただく際に、必要な情報です。

⑪ プリンターコネクター
プリンターのコネクターに直接接続してください。

2 接続と起動

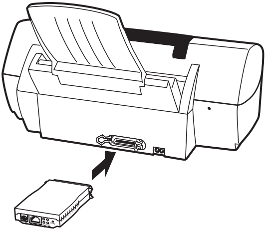
2-1 接続

注意‼ プリンターを FPServerII に接続する前にパソコンと直接接続し、正常に印刷ができることを確認してください。

プリンターの接続方法やドライバーのインストール方法についての詳細は、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

1 プリンター背面のコネクターに FPServerII を接続してください。

注意‼ コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

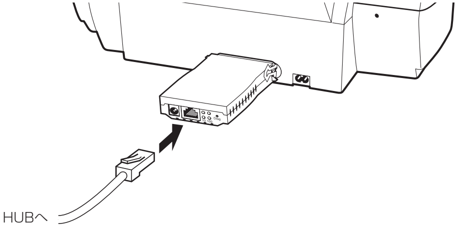


2 HUB からの LAN ケーブルを、FPServerII の LAN コネクターに接続してください。

注意‼ コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

注意‼ HUB と接続する場合には、UTP ストレートケーブルを使用してください。

注意‼ パソコンと直接接続する場合は、UTP クロスケーブルを使用してください。



2-2 起動

注意‼ 本製品には必ず同梱の専用ACアダプターをお使いください。同梱のACアダプター以外は、本製品に接続しないでください。

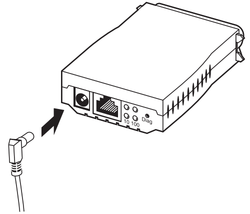
注意‼ 本製品に同梱の専用 AC アダプターは、本製品以外に接続しないでください。

注意‼ 本製品に同梱の延長用電源ケーブルは、本製品の専用 AC アダプター以外に接続しないでください。

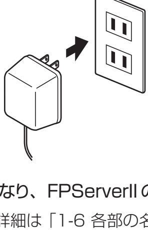
1 プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。

2 設定に使用するパソコン、HUB 等の電源を ON にし、それぞれの機器が完全に起動したことを確認してください。

3 FPServerII背面にあるDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続してください。



4 AC アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。



5 FPServerII の電源が ON になり、FPServerII の STATUS LED が点灯します。

memo LEDの表示についての詳細は「1-6 各部の名称と機能」(☞ p.11)を参照してください。

3 簡単に印刷する

注意!! 本章の操作を行う前にプリンタードライバーの設定と、FPServerIIの接続を完了しておいてください。(☞ 「2 接続と起動」p.13)

次のような条件が満たされているパソコンであれば、FPServerII に何ら設定を行うことなしに、パソコン側の設定を行うだけで、ネットワーク経由の印刷を開始することができます。

WindowsMe/98/95：

- NetBEUI が組み込まれている
- ワークグループ名が「WORKGROUP」に設定されている
- Microsoft ネットワーククライアントがインストールされている
- Microsoft ネットワーククライアントが「優先的にログオンする」に設定されている

memo 設定の方法については、OS の取扱説明書を参照してください。

WindowsXP/2000/NT4.0：

- TCP/IP が組み込まれている
- パソコンの IP アドレスが、「192.168.1.240」を除く、「192.168.1.1」～「192.168.1.254」の範囲内に設定されている
- サブネットマスクが「255.255.255.0」に設定されている

注意!! 「C パソコンのネットワーク設定を参照する」(☞ p.80)を参考に、IP アドレスを確認してください。

Mac OS 9.x/Mac OS X(10.1 以上)：

- AppleTalk が組み込まれている

お使いの OS にあわせて、次のページを参照し、印刷のための設定を行ってください。

WindowsMe/98/95 .... p16
WindowsXP p20
Windows2000 .... p26
WindowsNT4.0 .... p32
Mac OS 9.x p39
Mac OS X(10.1 以上) p42

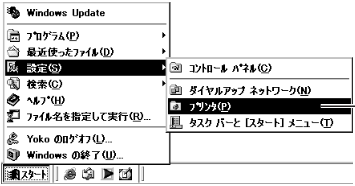
3 簡単設定編

3-1 WindowsMe/98/95 から印刷する場合(NetBEUI を使用する場合)

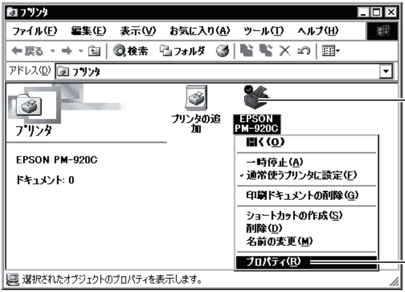
ここでは、WindowsMe を例に、FPServerII を利用して印刷を行う方法を説明します。

注意!! Windowsを起動する際に、ネットワークパスワードの入力をキャンセルしないでください。
キャンセルした場合、FPServerII を見つけることができなくなります。

1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。

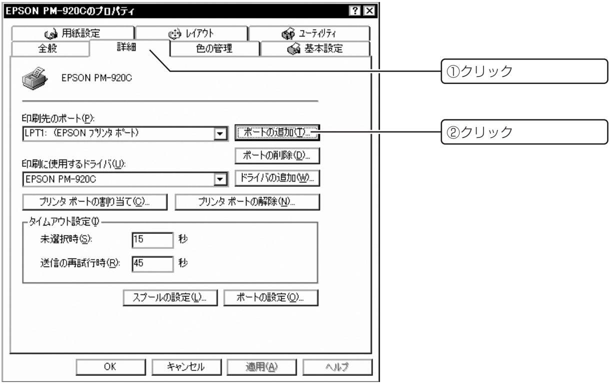


2 FPServerII 経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ (R) を選択してください。

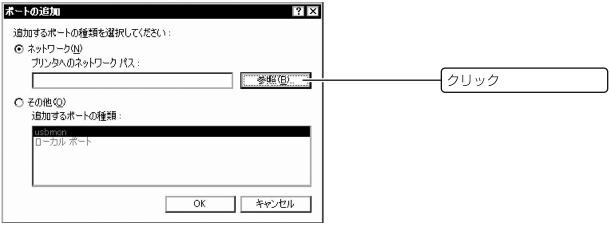


注意!! プリンターのアイコンが存在しない場合は、プリンタードライバーが組み込まれていません。
あらかじめプリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認した後に、本章の操作を行ってください。

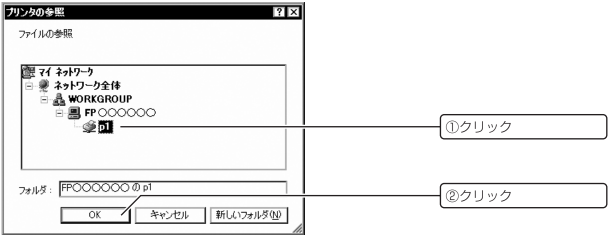
3 詳細 タブをクリックし、 ポートの追加(T)... をクリックしてください。



4 参照(B)... をクリックしてください。

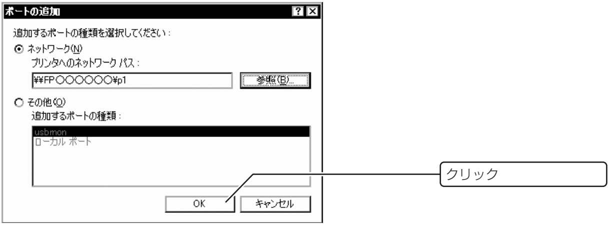


5 FPServerII のプリンターポートを選択し、 OK をクリックしてください。



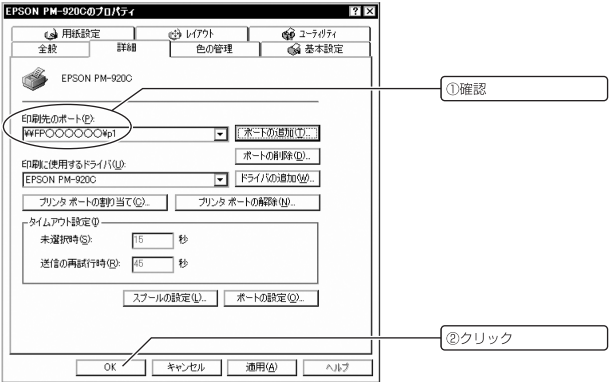
memo FPServerIIの名称は、「FP」に続けて6桁の数字(MACアドレスの下6桁)が連なった名称となっています。
また、プリンターポート名は、「P1」となっています。

6 OK をクリックしてください。



memo 手順5でFPServerIIを見つけることができなかった場合は、手順6のウィンドウで、プリンタへのネットワークパスを手入力してください。
ネットワークパスは「\\FP ○○○○○○ \P1」の形式で入力してください。
「○○○○○○」には、FPServerII の MAC アドレスの下 6 桁が入ります。

7 印刷先のポート(P)がFPServerIIに設定されていることを確認し、OK をクリックしてください。



プリンターポートに FPServerII のポートが設定されます。

3 簡単設定編

3-2 WindowsXP から印刷する

WindowsXP から FPServerII 経由で印刷を行うための設定方法について説明します。

注意!! パソコンの IP アドレスが、「192.168.1.240 」を除く「192.168.1.1 」～「192.168.1.254」の範囲内に設定されていることを前提に説明します。

注意!! WindowsXP から FPServerII 経由で印刷を行う場合、必ず TCP/IP が使用可能な状態で設定を行う必要があります。
特別な理由で TCP/IP を削除していない限り、TCP/IP が組み込まれています。

memo プリンターをパソコンに直接接続している場合
① プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
② プリンターを FPServerII につなぎ換えてください。
③ プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

3

Standard TCP/IP Port の設定

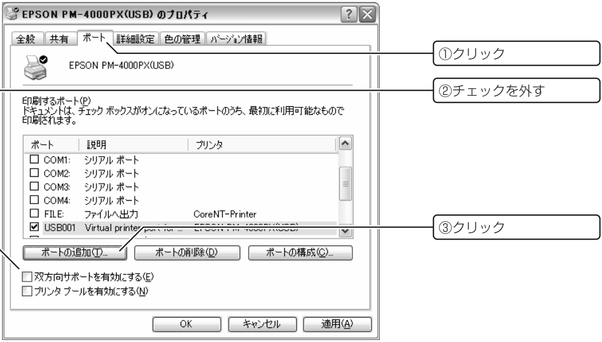
1 Windows から[スタート]-[プリンタと FAX]を選択してください。
または、[スタート]-[コントロールパネル(C)]-[プリンタとその他のハードウェア]-[インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する]を選択してください。



2 FPServerII経由で印刷したいプリンターをクリックして選択した後、「プリンタのタスク」一覧から、「プリンタのプロパティの設定」をクリックしてください。

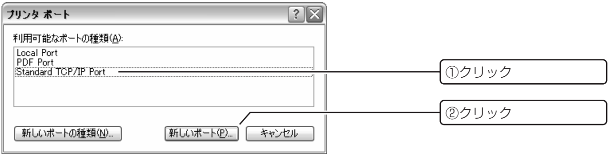


3 ポート タブをクリックし、双方向サポートを有効にする(E)のチェックボックスからチェックを外し、ポートの追加(T)... をクリックしてください。



注意!! 本製品は、プリンターの双方向通信機能に対応していません。

4 利用可能なポートの種類(A)一覧からStandard TCP/IP Portを選択し、新しいポート(P) をクリックしてください。



5 次へ(N)> をクリックしてください。



6 「プリンタ名または IP アドレス(A)」欄に「192.168.1.240」と入力し、次へ(N)> をクリックしてください。



memo ポート名は自動的に生成されますが、任意のポート名に変更することができます。

memo 既に存在するポート名は指定できません。
また、ポート名には、以下の文字は指定できません。
「　」(スペース)、「/」、「¥」、「&」、「:」、「=」

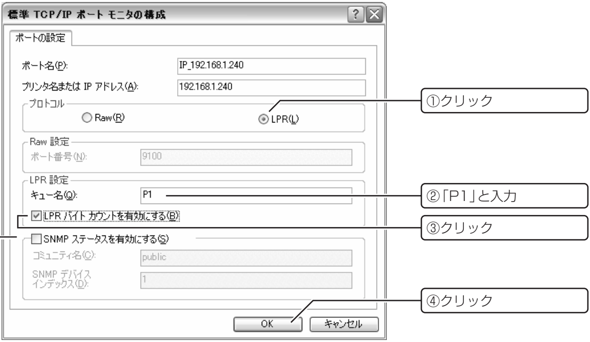
memo FPServerIIのIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力してください。

7 カスタム(C) を選択し、設定(E) をクリックしてください。



3

8 ポートの設定を行ってください。



①プロトコルにLPR(L)を選択してください。

注意!! Raw(R)を選択すると正常に出力されません。

②キュー名に「P1」と入力してください。

③LPRバイトカウントを有効にする(R)に、チェックを入れてください。

④ OK をクリックしてください。

注意!! FPServerIIは、SNMPステータスに対応していません。
SNMPステータスを有効にする(S)にチェックを入れないでください。

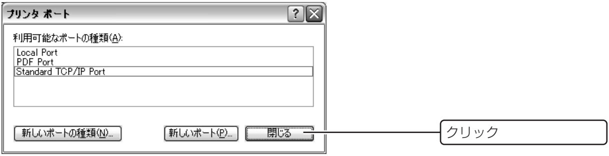
9 次へ(N)> をクリックしてください。



10 ウィンドウを順に閉じてください。



memo 設定内容を修正したい場合は、 <戻る(B) をクリックして設定ダイアログを表示し、修正を行ってください。





3-3 TCP/IP で Windows2000 から印刷する

Windows2000からFPServerIIを経由して印刷を行うための設定方法について説明します。

注意!! パソコンのIP アドレスが、「192.168.1.240 」を除く「192.168.1.1 」～「192.168.1.254」の範囲内に設定されていることを前提に説明します。

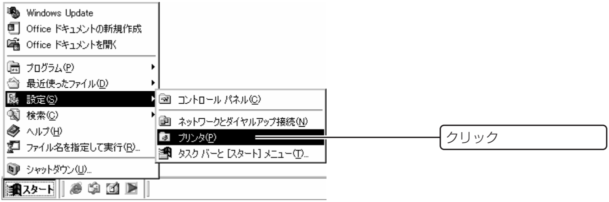
注意!! Windows2000からFPServerII経由で印刷を行う場合、必ずTCP/IPが使用可能な状態で設定を行う必要があります。
特別な理由で TCP/IP を削除していない限り、TCP/IP が組み込まれています。

3

memo プリンターをパソコンに直接接続している場合
① プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
② プリンターを FPServerII につなぎ換えてください。
③ プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

Standard TCP/IP Port の設定

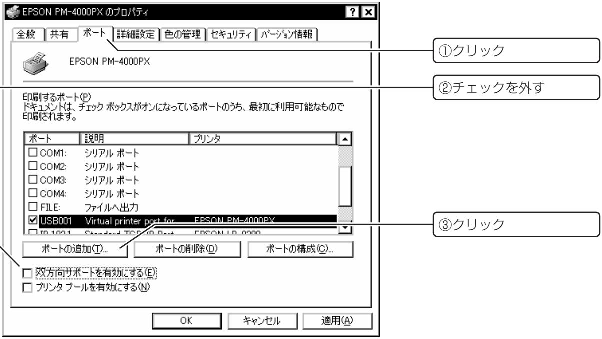
1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



2 FPServerII経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ(R) を選択してください。



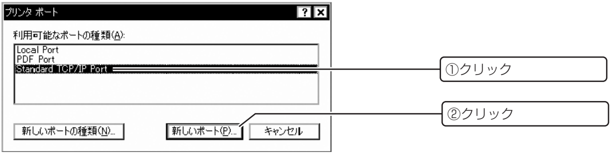
3 ポート タブをクリックし、双方向サポートを有効にする(E)のチェックボックスからチェックを外し、ポートの追加(T)... をクリックしてください。



注意!! 本製品はプリンターの双方向通信機能に対応していません。

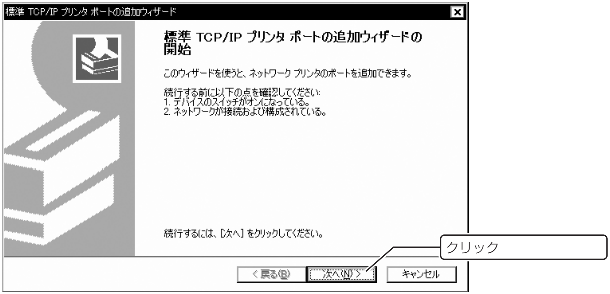
3 簡単設定編

4 利用可能なポートの種類(A) 一覧から Standard TCP/IP Port を選択し、新しいポート(P)... をクリックしてください。

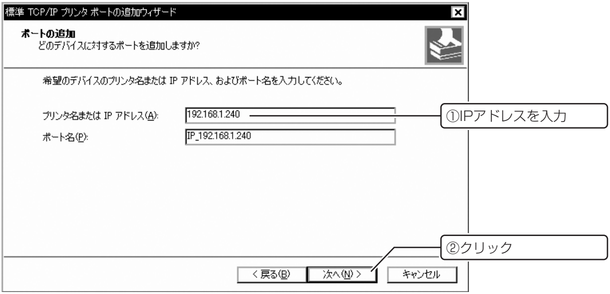


3

5 次へ(N)> をクリックしてください。



6 「プリンタ名または IP アドレス(A):」欄に「192.168.1.240」と入力し、次へ(N)> をクリックしてください。

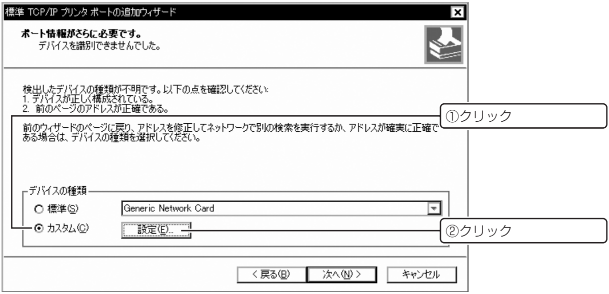


memo ポート名は自動的に生成されますが、任意のポート名に変更することもできます。

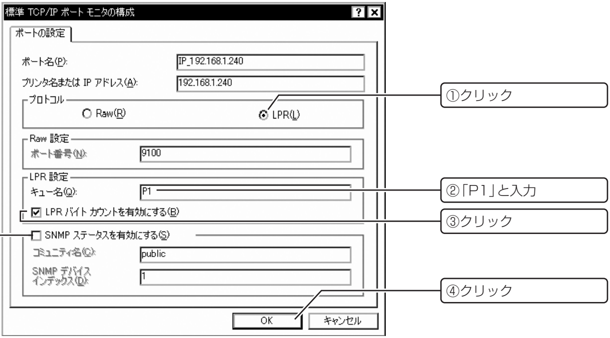
memo 既に存在するポート名は指定できません。
また、ポート名には、以下の文字は指定できません。
「　」(スペース)、「 / 」、「 ¥ 」、「&」、「 : 」、「=」

memo FPServerIIのIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力してください。

7 カスタム(C) を選択し、 設定(E)... をクリックしてください。



8 ポートの設定を行ってください。



①プロトコルに LPR(L)を選択してください。

注意!! Raw(R)を選択すると正常に出力されません。

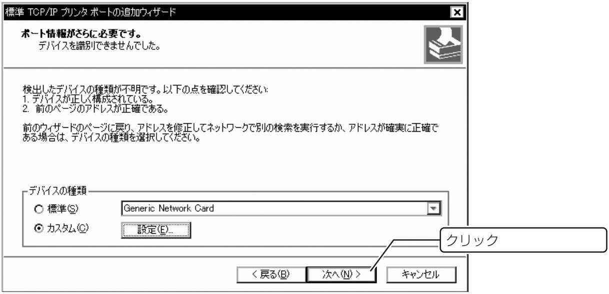
②キュー名に「P1」と入力してください。

③LPR バイトカウントを有効にする(R)に、チェックを入れてください。

④ OK をクリックしてください。

注意!! FPServerII は、SNMP ステータスに対応していません。
SNMP ステータスを有効にする(S)にチェックを入れないでください。

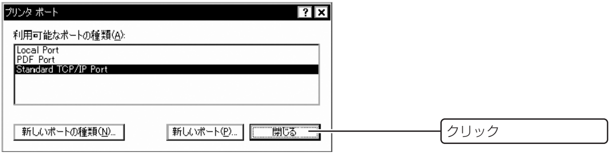
9 次へ(N)> をクリックしてください。

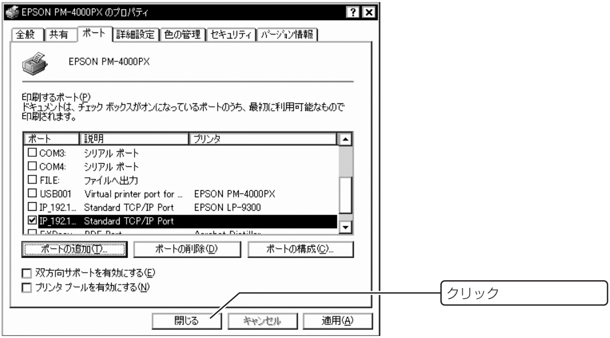


10 ウィンドウを順に閉じてください。



memo 設定内容を修正したい場合は、<戻る(B) をクリックして設定ダイアログを表示し、修正を行ってください。





3-4 TCP/IP で WindowsNT4.0 から印刷する

WindowsNT4.0からFPServerIIを経由で印刷を行うための設定方法について説明します。

注意!! パソコンのIPアドレスが、「192.168.1.240」を除く次の範囲内に設定されていることを前提に説明します。

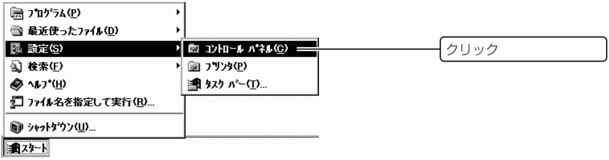
注意!! WindowsNT4.0からFPServerII経由で印刷を行う場合、必ずTCP/IPが使用可能な状態で設定を行う必要があります。
特別な理由で TCP/IP を削除していない限り、TCP/IP が組み込まれています。

memo プリンターをパソコンに直接接続している場合
① プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
② プリンターを FPServerII につなぎ換えてください。
③ プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

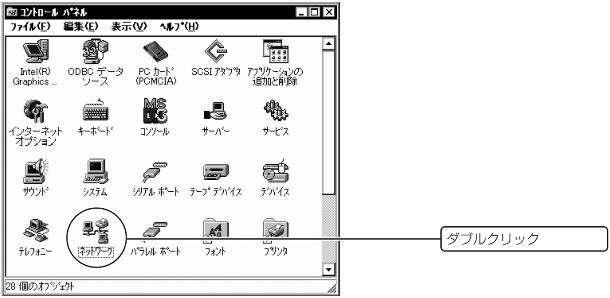
3

Microsoft TCP/IP 印刷のインストール

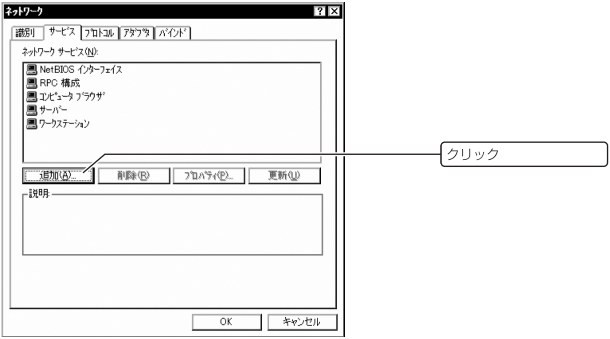
1 Windowsから[スタート]-[設定(S)]-[コントロールパネル(C)]を選択してください。



2 ネットワークアイコンをダブルクリックしてください。

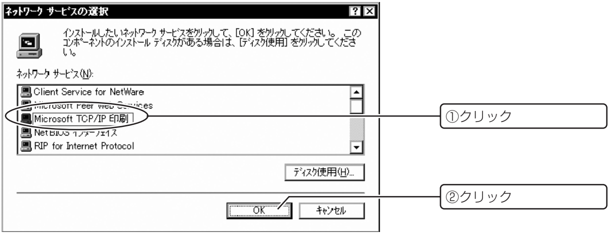


3 追加(A)... をクリックしてください。

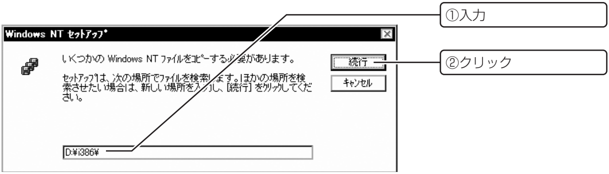


3 簡単設定編

4 Microsoft TCP/IP印刷を選択し、 OK をクリックしてください。



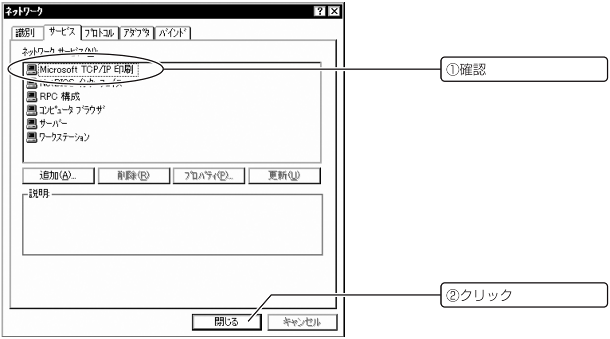
5 Windows NT 4.0のインストール用ファイルの場所を入力し、 続行 をクリックしてください。



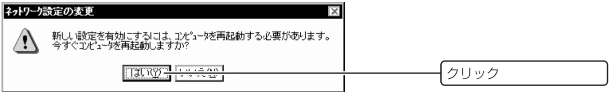
memo Windows NT 4.0 をユーザー側でインストールしていた場合には、Windows NT 4.0 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。
通常プリインストールモデルでは、この操作は必要ありません。

memo Windows NT 4.0をインストールした後に、ハードディスク等を増設していた場合、誤った場所が表示されていることがあります。
実際の環境に合せて、場所の名前を書き換えてください。

6 Microsoft TCP/IP印刷がネットワークサービスの一覧に追加されたことを確認し、閉じる をクリックしてください。



7 はい(Y) をクリックしてください。



Microsoft TCP/IP 印刷のインストールが完了し、パソコンの再起動が行われます。

3 簡単設定編

プリンターの設定

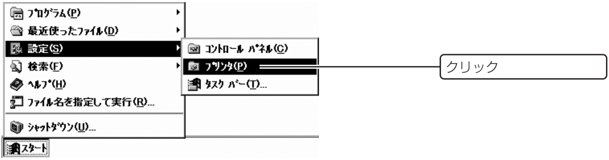
Microsoft TCP/IP 印刷によって作成されたポート経由で印刷を行うために、Windows のプリンター設定を行う必要があります。

memo　プリンターをパソコンに直接接続している場合

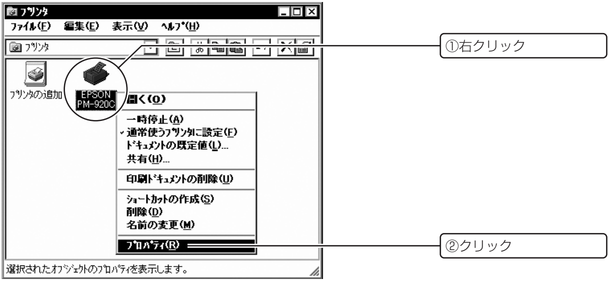
① プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
② プリンターを FPServerII につなぎ換えてください。
③ プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

3

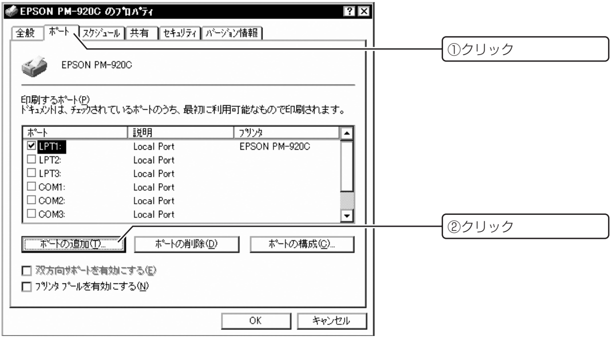
1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



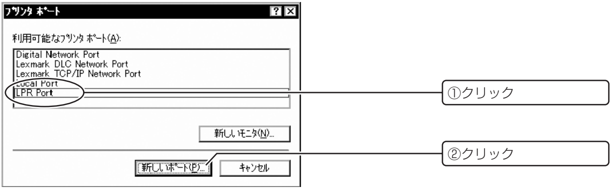
2 FPServerII経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ(R) を選択してください。



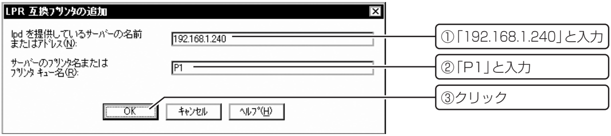
3 ポート タブをクリックし、ポートの追加(T)... をクリックしてください。



4 利用可能なプリンタポート(A) 一覧から LPR Port を選択し、
新しいポート(P)... をクリックしてください。

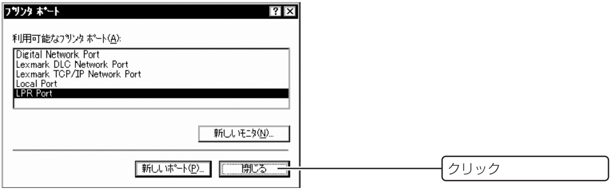


5 「lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス(N)」欄に、「192.168.1.240」、「サーバーのプリント名またはプリンタキュー名(R)」欄に、「P1」と入力して OK をクリックしてください。



memo FPServerIIのIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力してください。

6 閉じる をクリックしてください。



7 OK をクリックしてください。



memo 「双方向サポートを有効にする(E)」にチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

注意!! FPServerII は、双方向通信に対応していません。

注意!! パソコンとプリンターを直接接続した状態で、双方向通信のチェックを外さなければ、双方向通信機能が OFF にならない場合があります。

3-5 AppleTalk で Mac OS 9.x から印刷する

本項では Mac OS 9.x にプリンターの設定を行う手順について説明します。

注意!! 本章の操作を行う前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。
なお、プリンタードライバーの詳細については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

注意!! FPServerII を利用して印刷する場合は、PostScript プリンターのみ対応しています。
他のタイプのプリンターを使用することはできません。

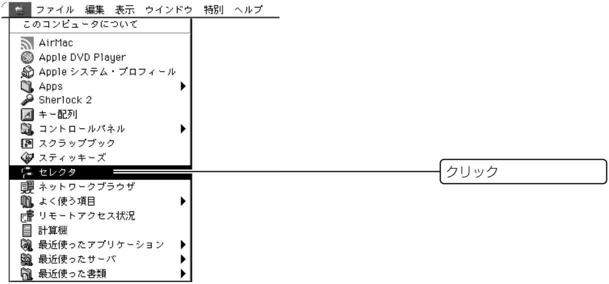
memo プリンターをパソコンに直接接続している場合
① プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
② プリンターを FPServerII につなぎ換えてください。
③ プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

memo Macintosh を購入した場合、標準で AppleTalk が組み込まれています。
AppleTalk をインストールする必要はありません。

3
簡単設定編

ここでは、Mac OS 9.x を例に、プリンターの設定方法を説明します。

1 Apple メニューから[セレクタ]をクリックしてください。

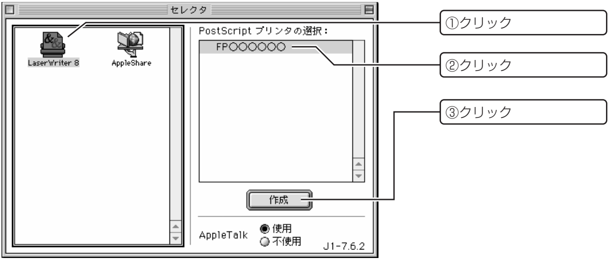


2 プリンタードライバと FPServerII を関連付けてください。

① FPServerII 経由で印刷したいプリンターのアイコンをクリックしてください。

②「PostScript プリンタの選択：」一覧から FPServerII の名称をクリックしてください。

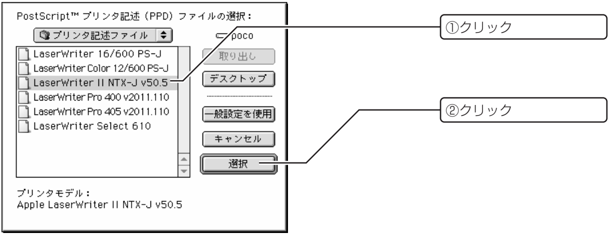
③ [作成] をクリックしてください。



注意!! プリンターのアイコンが存在しない場合は、プリンタードライバーが組み込まれていません。
プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認した後に、本章の操作を行ってください。

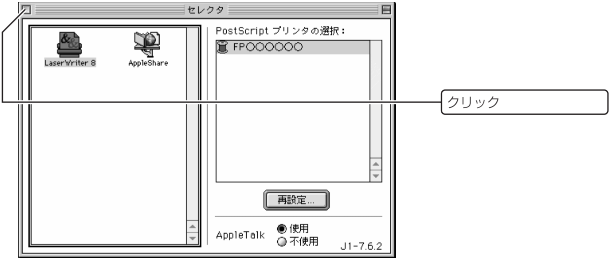
memo 画面例は、LaserWriter8 を選択した例です。選択するプリンターの種類については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

3 プリンタ記述ファイルを選択し、 選択 をクリックしてください。

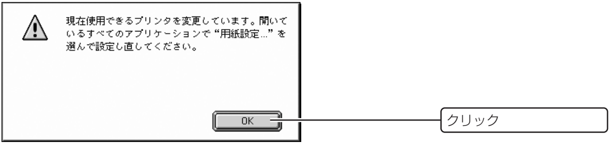


memo 画面例は、LaserWriterII NTX-Jを選択した例です。選択するプリンターの種類については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

4 セレクタを閉じてください。



5 OK をクリックしてください。



プリンタの設定が完了します。

3-6 AppleTalk で Mac OS X から印刷する

本項では Mac OS X にプリンターの設定を行う手順について説明します。

注意!! 本章の操作を行う前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。
なお、プリンタードライバーの詳細については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

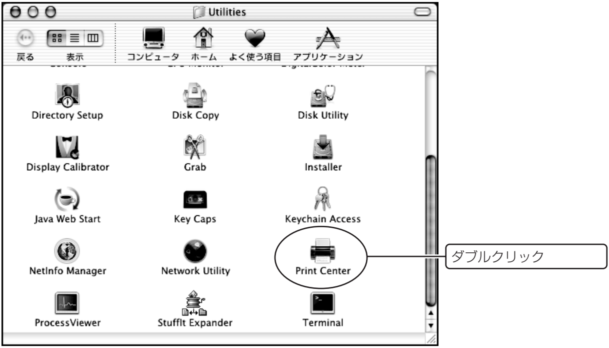
注意!! FPServerII を利用しての印刷は、PostScript プリンターでのみ可能です。
他のタイプのプリンターを使用することはできません。

memo プリンターをパソコンに直接接続している場合
① プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
② プリンターを FPServerII につなぎ換えてください。
③ プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

memo Macintosh を購入した場合、標準で AppleTalk が組み込まれています。
AppleTalk をインストールする必要はありません。

ここでは、Mac OS X(10.1)を例に、プリンターの設定方法を説明します。

1 [Applications]-[Utilities]フォルダ内の「Print Center」をダブルクリックしてください。



2 プリンタを追加... をクリックしてください。



3 簡単設定編

3 プリンタを選択してください。

① プリンタとの接続手段に「AppleTalk」を選択してください。

② 一覧から本製品のサーバー名をクリックしてください。

③ プリンタの種類を選択してください。

④ 追加 をクリックしてください。



注意!! 「プリンタの種類」に接続するプリンタ名が存在しない場合は、プリンタードライバーが組み込まれていません。
プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認した後に、本章の操作を行ってください。

4 プリンタリストを閉じてください。



プリンタの設定が完了します。

4 本製品の設定

FPServerIIには設定用のWebサーバーが内蔵されており、Webブラウザーから接続することで、FPServerIIの詳細な設定内容を変更することができます。
本章では、FPServerIIの設定を変更する方法について解説します。

4-1 設定用パソコンの準備

memo Windowsを例に説明を行っていますが、Macintoshでも設定が行えます。

設定用パソコンの構成

FPServerIIの設定を行うためには、次の条件を満たすパソコンが必要です。
- ・IEEE802.3に準拠したLANカードが装備されている
- ・TCP/IPが組み込まれている
- ・Microsoft Internet Explorer 5.0以上がインストールされている

memo LANカードの取り付け方法や、設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書を参照してください。

memo WindowsMe/98/95から印刷を行う場合は、LPR PLUSをインストールするためのCD-ROMドライブが必要です。

memo NetBEUIやAppleTalkで印刷する場合であっても、本製品の設定を行うパソコンには、TCP/IPが組み込まれている必要があります。

TCP/IP設定

FPServerIIの設定を行う場合は、設定用パソコンに以下のTCP/IP設定を行っておく必要があります。

IPアドレス　：192.168.1.1 ～ 192.168.1.254の範囲のIPアドレス
ただし、192.168.1.240を除く
サブネットマスク　：255.255.255.0

注意!! 「IPアドレスを自動的に取得する」設定にしないでください。
初回設定時には、設定用のパソコンにIPアドレスを手動で設定してください。

注意!! 本書では設定用パソコンの、運用時のIPアドレスを以下に設定したものとして説明します。
- ・設定用パソコンのIPアドレス値：192.168.1.3
- ・設定用パソコンのサブネットマスク値：255.255.255.0

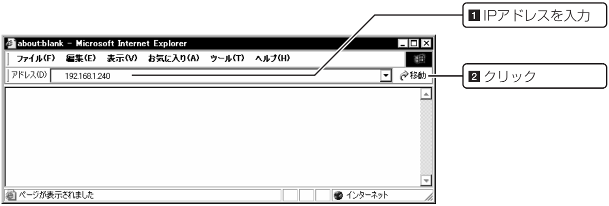
設定の際には、実際の値に読み替えてください。

memo TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書、または各OSの説明書を参照してください。

4-2 設定の開始

1 Web ブラウザーを起動し、アドレス欄に FPServerII の IP アドレスを入力してください。

2 ［移動］をクリックしてください。

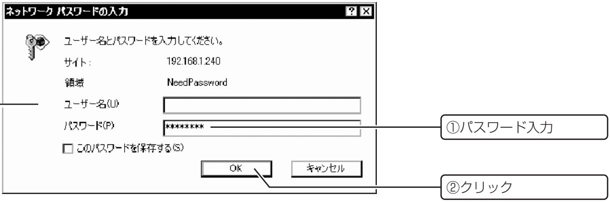


memo 購入後初めてFPServerIIを設定する場合や初期化を行った場合、FPServerIIの IP アドレスは、192.168.1.240 になっています。

本製品にパスワードを設定している場合は、手順 3 のウィンドウが表示されます。

memo 工場出荷時は、パスワードが設定されていないため、手順 3 のウィンドウは表示されません。
手順 4 に進んでください。

3 パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。



memo パスワードを設定していない場合には、本ウィンドウは表示されません。

memo 「ユーザー名」には、特に何も入力する必要はありません。

設定用のページが表示されます。

4 次のページ以降の説明を参照して、設定を行ってください。

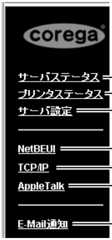
注意!! Webブラウザーにオフラインや、プロキシサーバーの設定を行っている場合は、本装置の設定用ページが表示されないことがあります。
そのような場合には、これらの設定を解除してください。(☞ P.82)

memo 設定ページは、左側のメニューフレームと右側の設定フレームからなります。



メニューフレーム　　設定フレーム

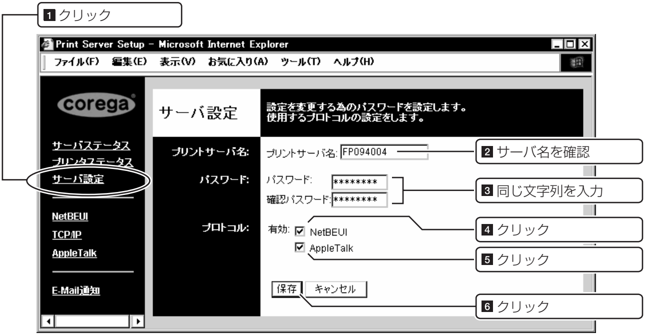
memo メニューフレームの各項目をクリックすると、設定フレームに対応する設定項目が表示されます。



サーバーステータス (☞ P.72)
プリンターステータス (☞ P.74)
サーバー設定 (☞ P.48)
NetBEUI (☞ P.50)
TCP/IP (☞ P.52)
AppleTalk (☞ P.54)
E-Mail通知 (☞ P.75)

4-3 サーバー設定

1 メニューフレームから サーバ設定 をクリックしてください。



2 プリントサーバ名を確認してください。

パソコンからは、ここに入力した名称のプリントサーバーが認識されます。
また、必要に応じて任意の名称に変更することができます。

memo 通常は変更する必要はありません。

memo 同一ネットワーク上の他の機器と同じ名前を使用することはできません。

memo 工場出荷時設定では、FP に MAC アドレスの下 6 桁をあわせた名称になっています。

3 パスワードを入力してください。

「パスワード」及び「確認パスワード」欄にパスワードとして用いる文字列を入力してください。

memo パスワードとして用いることのできる文字列は、次のとおりです。
- 半角アルファベット(A ～ Z、a ～ z)
- 半角数字(0 ～ 9)
- 全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2 バイト文字)は、使用できません。
入力できる文字数は、最大 11 文字です。

memo 工場出荷時設定では、パスワードが設定されていません。

memo 入力したパスワードは「＊」(アスタリスク)で表示されます。
また、セキュリティーの観点から、パスワードを設定することをお勧めします。

4 NetBEUIプロトコルを使用してプリンター共有を行いたい場合は、NetBEUIにチェックを入れてください。

memo パソコン側にもNetBEUIプロトコルを組み込む必要があります。
NetBEUIの組込方法につきましては、別途参考書等をご覧ください。

5 AppleTalkプロトコルを使用してプリンター共有を行いたい場合は、AppleTalkにチェックを入れてください。

注意!! AppleTalkを利用して印刷する場合は、PostScriptプリンタのみ対応しています。

memo AppleTalkを利用した印刷は、Macintoshから行ってください。

6 設定内容を確認し、 保存 をクリックしてください。
設定した内容がFPServerIIに保存され、FPServerIIの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo 再起動後、新しい設定内容が動作に反映されます。

7 戻る をクリックしてください。

注意!! 一通りの設定が済むまでは、FPServerIIを再起動しないでください。



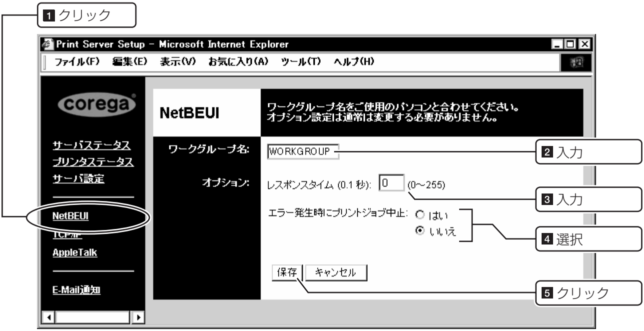
4 詳細設定編

4-4 NetBEUI 設定

サーバー設定において、NetBEUI を選択した場合のみ本設定が必要です。
NetBEUI を選択していない場合は、本設定を行う必要はありません。

memo 本章のオプション設定項目については、通常変更する必要はありません。

1 メニューフレームから NetBEUI をクリックしてください。



2 ワークグループ名またはドメイン名を入力してください。

パソコンに設定されているものと同じワークグループ名を入力してください。

memo ワークグループ名として用いることのできる文字列は、次のとおりです。
・半角アルファベット(A ~ Z)
・半角数字(0 ~ 9)
・全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2 バイト文字)、及び、小文字の英文字は使用できません。
入力できる文字数は、最大 19 文字です。

3 レスポンスタイムを入力してください。

プリンターのデータ受信性能が、FPServerIIのデータ送信性能を下回っている場合、プリンターが正しく印刷データを受け取ることができず、印刷が正常に行えないことがあります。
そのような場合には、レスポンスタイムを増やしてください。
工場出荷時：「0」

memo 通常は変更する必要はありません。

4 エラー発生時に印刷を中止するかどうかを選択してください。

はい　　エラー発生時に、エラーの発生した印刷がキャンセルされます。
いいえ　エラーが発生しても、印刷を継続します。

memo デフォルトでは「いいえ」に設定されています。

memo 通常は変更する必要はありません。

5 保存 をクリックしてください。

設定した内容が FPServerII に保存され、FPServerII の再起動を促すメッセージが表示されます。

memo 再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

6 戻る をクリックしてください。

注意!! 一通りの設定が済むまでは、FPServerII を再起動しないでください。

4-5 TCP/IP 設定

注意!! 必ず TCP/IP 設定を行ってください。
TCP/IP で印刷を行わない場合でも、設定変更などに必要となります。

1 メニューフレームから TCP/IP をクリックしてください。



2 IP アドレスの設定方法を選択してください。

DHCPから取得 : LAN内のDHCPサーバーからIPアドレスが自動的に取得されます。

memo DHCPサーバーによりFPServerIIのIPアドレスを割り当てる場合は、必ず毎回同じIPアドレスが割り当てられるようにDHCP サーバーを設定してください。
割り当てられるIPアドレスが変わると、正常に印刷ができなくなる場合があります。

固定 IP アドレス : 手動により IP アドレスを設定できます。

memo こちらを選択した方が、設定や運用が簡単です。
通常はこちらを選択してください。

3 IP 関連の情報を入力してください。

IP アドレス:　運用時に使用する IP アドレスを入力してください。
工場出荷時設定：192.168.1.240

サブネットマスク: 運用時に使用するサブネットマスクを入力してください。
工場出荷時設定：255.255.255.0

memo FPServerIIを利用するパソコンに設定されているものと同じ値を入力してください。
パソコンのサブネットマスクを参照する方法についての詳細は、「付録 C パソコンのネットワーク設定を参照する」(☞ p.80)を参考にしてください。

ゲートウェイ:　デフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。
工場出荷時設定：192.168.1.1

memo 通常は他のネットワークとの接続に使用しているルーターの LAN 側アドレスとなります。
「E-mail通知」機能を使用しない場合は、設定する必要はありません。

4 [保存] をクリックしてください。

設定した内容がFPServerIIに保存され、FPServerIIの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo 再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

5 [戻る] をクリックしてください。

注意!! 一通りの設定が済むまでは、FPServerII を再起動しないでください。

4-6 AppleTalk 設定

サーバー設定を行う際に、AppleTalk を選択した場合のみ本設定が必要です。
AppleTalk を選択していない場合は、本設定を行う必要はありません。
通常 Macintosh から印刷する場合にのみ、本設定が必要となります。

1 メニューフレームから AppleTalk をクリックしてください。



2 ゾーン名を入力してください。
Macintosh に設定されているものと同じゾーン名を入力してください。
工場出荷時：「＊」

memo 通常は変更する必要はありません。

memo ゾーン名を利用しない場合は、「*」を入力してください。

memo ゾーン名として用いることのできる文字列は、次のとおりです。
・半角アルファベット(A ～ Z)
・半角数字(0 ～ 9)
・全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2 バイト文字)は使用できません。
入力できる文字数は、最大 11 文字です。

3 プリンタ機種名を入力してください。
FPServerII を接続するプリンターの名称を入力してください。
参考として使用しますので、正確である必要はありません。
工場出荷時：「Laser Writer」

4 印刷時のデータ形式を選択してください。

ASCII　パソコンからの印刷データが ASCII 形式とみなされます。

Binary　パソコンからの印刷データが Binary 形式とみなされます。
印刷速度が速くなる場合があります。

工場出荷時：「Binary」

memo 印刷に問題がある場合は、「ASCII」に変更して印刷を行ってみてください。

memo 通常は変更する必要はありません。

5 保存 をクリックしてください。

設定した内容が FPServerII に保存され、FPServerII の再起動を促すメッセージが表示されます。

memo 再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

6 戻る をクリックしてください。

注意!! 一通りの設定が済むまでは、FPServerII を再起動しないでください。

4 詳細設定編

4-7 再起動

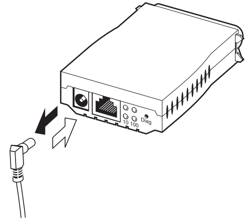
再起動を行うことで、設定した値が動作に反映されます。

注意!! 再起動を行う前に、設定した値を確認してください。
設定内容にミスがあった場合、通信ができなくなる可能性があります。

memo 再起動後に通信ができなくなった場合は、工場出荷時の設定に戻し、設定をやり直してください。
詳細については「6-4 工場出荷時状態に戻す」(☞ p.77)を参照してください。

1 電源コネクターから電源プラグを抜き、10秒程度待ってから、再度電源プラグを挿入してください。

再起動が行われます。



2 設定用パソコンのネットワーク設定内容を、運用時のものに設定し直してください。

4

5 その他の印刷方法

本章では、「3 簡単に印刷する」(☞ p.15)に記載されている方法以外の、印刷設定について説明します。

5-1 TCP/IP で WindowsMe/98/95 から印刷する

WindowsMe/98/95からTCP/IPプロトコルにより、FPServerII経由で印刷を行うためには、LPR PLUS をインストールし、ポートの設定を行う必要があります。

注意‼ LPR PLUS をインストールする前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認してください。

注意‼ LPR PLUSをインストールするためには、TCP/IPが組み込まれていなければなりません。
必ず Windows に TCP/IP が組み込まれた状態で、LPR PLUS をインストールしてください。

注意‼ LPR PLUS 以外の LPR ソフトに関するサポートは行っていません。

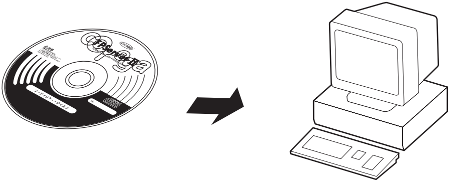
memo プリンターをパソコンに直接接続している場合
①プリンターと FPServerII の電源を一度 OFF にしてください。
②プリンターを FPServerII につなぎ換えてくだい。
③プリンターの電源を ON にし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④ FPServerII の電源を ON にしてください。

memo NetBEUIプロトコルを利用して印刷を行う場合は、「3-1 WindowsMe/98/95から印刷する場合」(☞ p.16)を参照してください。

5 詳細設定編

LPR PLUS のインストール

1 ユーティリティーディスクをパソコンのCD-ROMドライブに挿入してください。

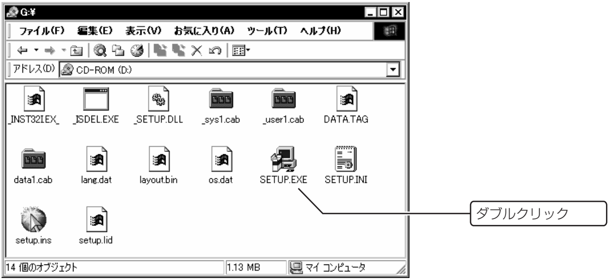


2 マイコンピュータから、CD-ROM をダブルクリックしてください。

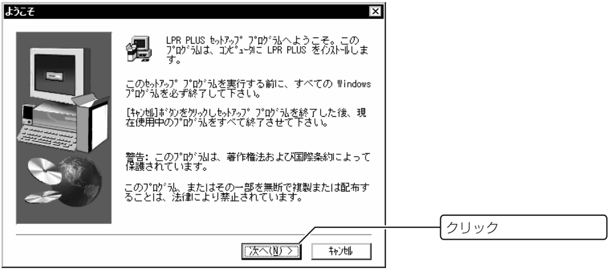


memo 画面は CD-ROM ドライブが「D:」の場合の例です。
ご使用の環境により「E:」「F:」などと表示されている場合もあります。

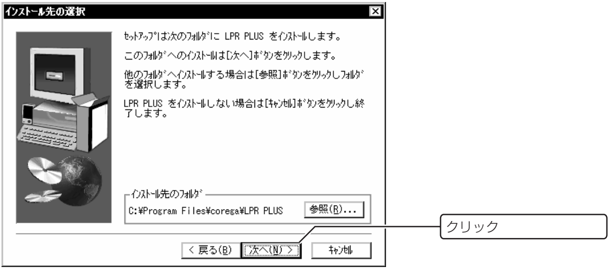
3 CD-ROM 内の「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。



4 次へ(N)> をクリックしてください。



5 次へ(N)> をクリックしてください。

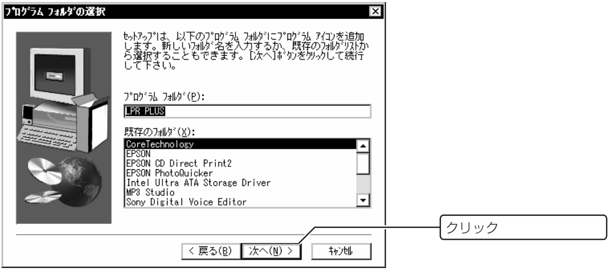


memo インストールするフォルダを変更したい場合は、 参照(R)... をクリックし、インストール先のフォルダを選択してください。
通常は変更する必要はありません。

5 詳細設定編

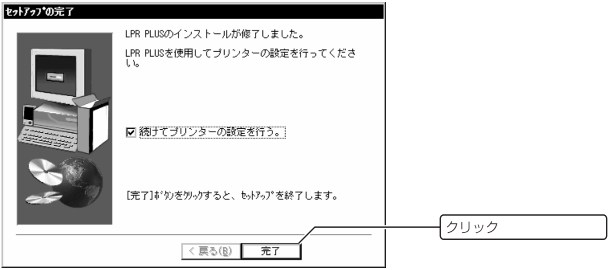
5

6 次へ(N)> をクリックしてください。



ソフトウェア自体のインストールが完了します。

7 完了 をクリックしてください。



memo プリンターのドライバをインストールしていない場合は「続けてプリンターの設定を行う。」のチェックを外し、 完了 をクリックしてください。
その後プリンタードライバーをインストールし、「プリンターポートの設定」(☞ p.61)を行ってください。

memo プリンタードライバーの組み込み方法については、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

プリンターポートの設定

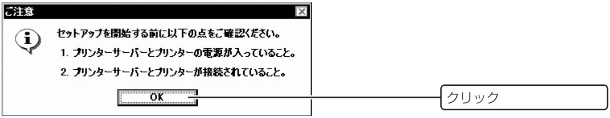
memo 本操作は、プリンタードライバーが組み込まれていることを前提にしています。プリンタードライバーが組み込まれていない場合は、プリンタードライバーを組み込んだ後に、[スタート]-[プログラム(P)]-[LPR PLUS]-[LPR Plus]を選択し、ポート設定ツールを起動してください。

memo プリンタードライバーの組み込み方法については、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

1 Windowsから[スタート]-[プログラム]-[LPR PLUS]-[LPR PLUS]をクリックしてください。

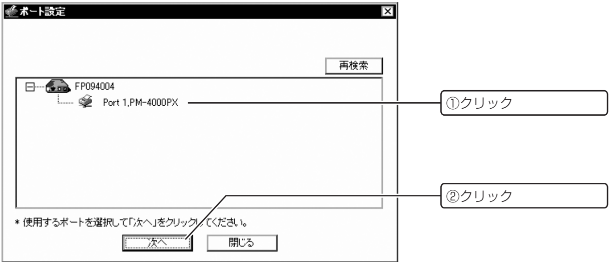
LPR PLUS が起動します。

2 メッセージの内容を確認し、 OK をクリックしてください。



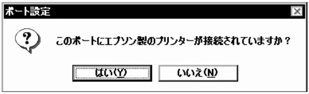
自動的に FPServerII がリストアップされます。

3 プリンターポートを選択し、 次へ をクリックしてください。



プリンターサーバーのプリンターポートをパソコンから利用可能になった旨のメッセージが表示されます。

memo この時点で次のメッセージが表示されることがあります。



エプソン製のプリンタが接続されていない場合：

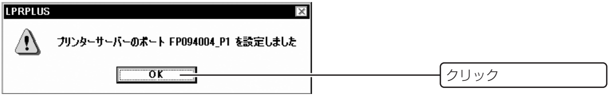
いいえ(N) をクリックし 4 に進んでください。

エプソン製のプリンタが接続されている場合：

はい(Y) をクリックし、表示されるメッセージにしたがってSpool Managerを終了させ、 OK をクリックしてください。

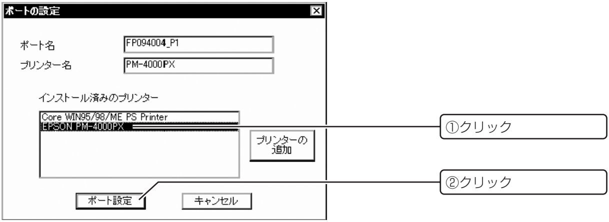


4 OK をクリックしてください。



インストール済みのプリンター一覧が表示されます。

5 インストール済みのプリンター欄から、FPServerIIに接続されているプリンターの名称を選択し、 ポート設定 をクリックしてください。

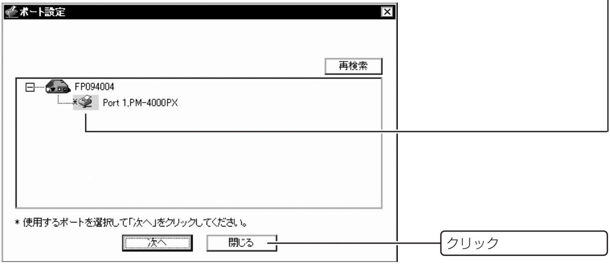


memo この時点で [プリンターの追加] をクリックすることにより、プリンタードライバーをインストールすることもできますが、プリンターメーカーが独自に提供しているユーティリティーなどがインストールされないことがあります。
したがって、LPR PLUS のインストールを行う前に、プリンタードライバーのインストールを完了しておいてください。

memo プリンタードライバーのインストール方法についての詳細は、プリンターに付属の取扱説明書などを参照してください。

FPServerII のプリンターポートアイコンに「*」マークが付きます。

6 [閉じる] をクリックしてください。



LPR PLUS の設定が完了します。

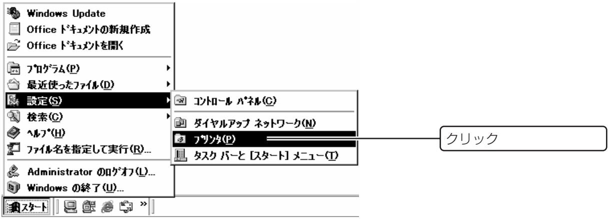
5 詳細設定編

設定の確認

LPR PLUSのインストールとポート設定が完了したら、次に作成したポート経由で、印刷が行われることを確認してください。

memo　FPServerII の設定は、事前に完了させておいてください。

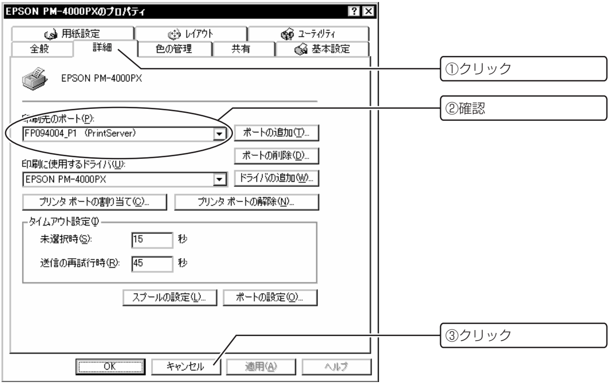
1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



2 FPServerII経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ (R) を選択してください。



3 詳細 タブをクリックし、印刷先のポート(P) にFPServerIIの名称が表示されていることを確認してください。



4 キャンセル をクリックし、プロパティウィンドウを閉じてください。

5 詳細設定編

5-2 NetBEUI で Windows2000 から印刷する

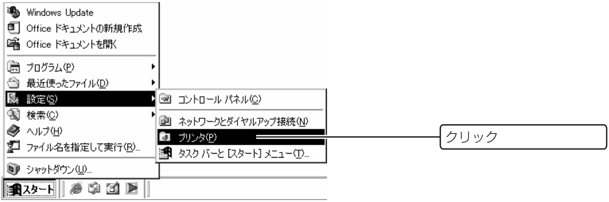
Windows2000 から NetBEUI プロトコルにより、PServerII 経由で印刷を行う方法について説明します。

注意!! Windows2000 に NetBEUI プロトコルが組み込まれている必要があります。組み込まれていない場合は、OS付属の説明書やヘルプなどを参照し、組み込んでおいてください。

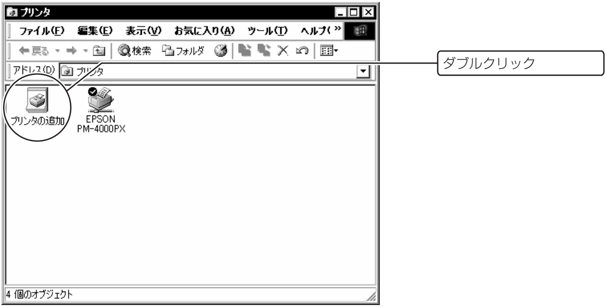
memo Windows2000 では、TCP/IP による印刷を推奨します。
(☞ 「3-3 TCP/IP で Windows2000 から印刷する」p.26)

プリンタの追加

1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



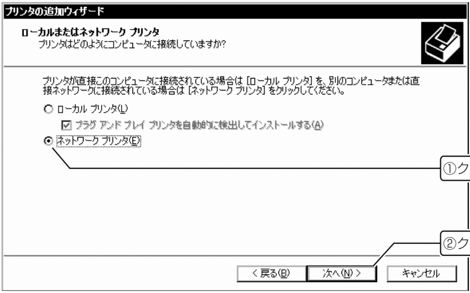
2 「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。



3 次へ(N)> をクリックしてください。

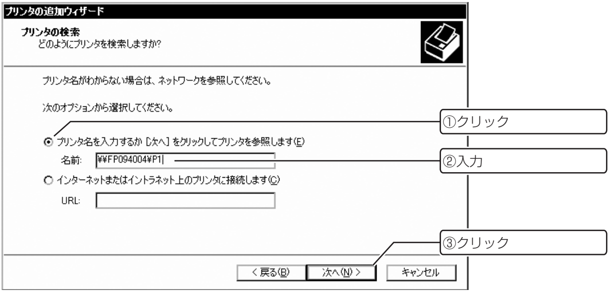


4 「ネットワークプリンタ(E)」を選択し、次へ(N)> をクリックしてください。



5 詳細設定編

5 プリンタ名を設定してください。



①「プリンタ名を入力するか[次へ]をクリックしてプリンタを参照します(E)」を選択してください。

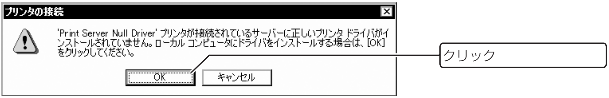
② 名前欄に「¥¥ サーバー名 ¥ ポート名」の形式でプリンタ名を入力してください。サーバー名は、「FP」に「MACアドレスの下6桁」をあわせた名称になっています。ポート名は、「P1」固定です。

memo サーバー名が「FP094004」の場合、名前欄に入力する文字列は、「¥¥FP094004¥P1」となります。

memo MAC アドレスは、MAC アドレスラベルに記載してあります。

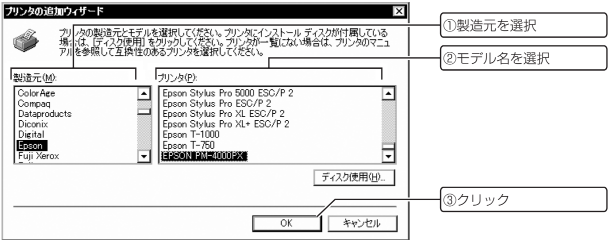
③ 次へ(N)> をクリックしてください。

6 OK をクリックしてください。



5

7 プリンタの製造元とプリンタを選択してください。



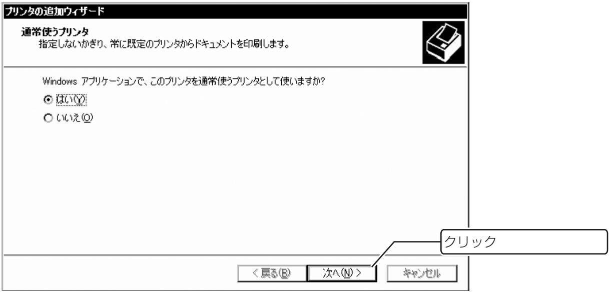
①「製造元(M)」一覧から、製造元を選択してください。

②「プリンタ(P)」一覧から、プリンタのモデル名を選択してください。

memo 「プリンタ」の一覧にお使いのモデル名がない場合は、ディスク使用(H)... をクリックし、ドライバーをインストールしてください。プリンタドライバーのインストール方法については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

③ OK をクリックしてください。

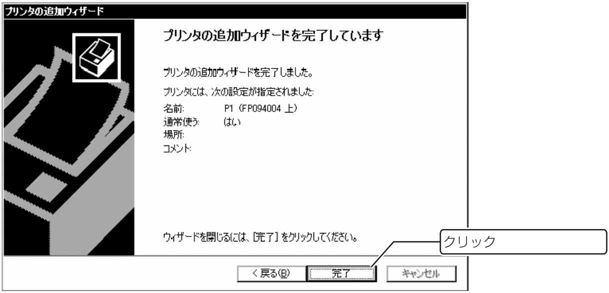
8 次へ(N)> をクリックしてください。



memo 通常使うプリンタが、別に存在する場合は、「いいえ(N)」を選択してください。

5 詳細設定編

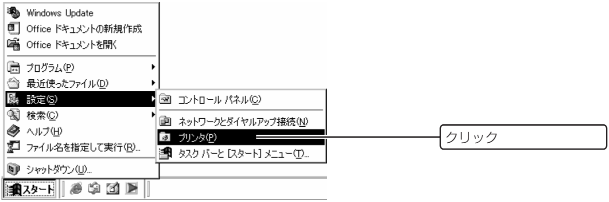
9 完了 をクリックしてください。



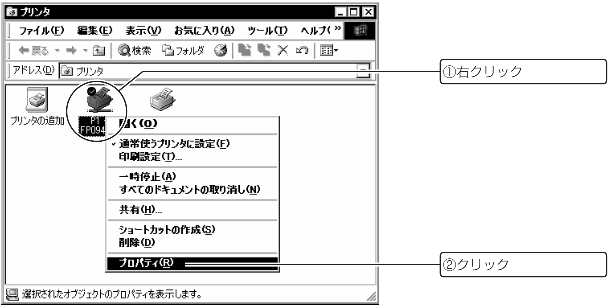
続いて、双方向通信を OFF にしてください。

双方向通信を OFF にする

1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



2 作成したプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ(R)]をクリックしてください。



3 「双方向サポートを有効にする(E)」のチェックをはずし、OK をクリックしてください。



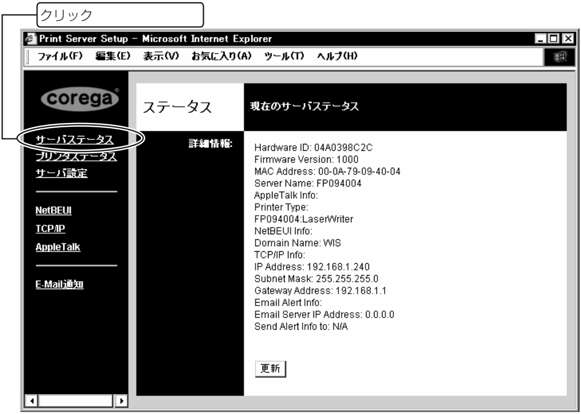
5 詳細設定編

6 その他の機能

6-1 サーバーステータスの参照

FPServerII に設定されている各種情報を一覧で参照できます。

1 メニューフレームから サーバステータス をクリックしてください。



主な項目について説明します。

Hardware ID: 各 FPServerII に付けられた固有の ID です。
障害時の問い合わせに必要となる場合があります。

Firmware Version: FPServerII 上で動作しているソフトウェアのバージョン情報です。
障害時の問い合わせに必要となる場合があります。

MAC Address: FPServerII の LAN ポートに付けられたアドレスです。
LAN での通信に使用されます。

Server Name: この FPServerII に付けられた固有の名前です。
工場出荷時設定では、FP の文字に続けて、MAC アドレスの下 6 桁が付けられています。

Domain Name: NetBEUI プロトコルによりプリンターを共有する際に、必要となるドメイン名(ワークグループ名)です。
memo 工場出荷時設定では、何も設定されていません。

IP Address:　本製品に付けられたIPアドレスです。
工場出荷時設定：192.168.1.240

Subnet Mask:　本製品に付けられたサブネットマスクです。
工場出荷時設定：255.255.255.0

Gateway Address:　他のネットワークと通信する際に必要となるゲートウェイアドレスです。
一般的には、ルーターのIPアドレスになります。
工場出荷時設定：192.168.1.1

Email Server IP Address:
障害情報をE-Mailで送信する際に使用するメールサーバーのIPアドレスです。
工場出荷時設定：0.0.0.0

Send Alert Info to：
障害情報をE-Mailで送信する際に使用する送信先のメールアドレスです。
memo 工場出荷時設定では、何も設定されていません。

6 詳細設定編

6-2 プリンタステータス

FPServerII に接続されているプリンターの状態を参照できます。

1 メニューフレームから プリンタステータス をクリックしてください。



各項目について説明します。

接続プリンタ名: FPServerII に接続されているプリンターの名称が、表示されます。

ステータス: プリンターケーブルに繋がったプリンターの状態が表示されます。
・On-Line:プリンターに対し印刷が可能な状態です。
・Off-Line:印刷ができません。

プリント情報: 印刷の状態が表示されます。
・Idle:何も印刷されてません。
・Printing:印刷中です。

テスト印刷 クリックすることで、テスト印刷が行われます。

注意!! ASCII コードをサポートしていない一部のプリンターでは、本機能を使用できません。
本機能が動作しない場合は、ご使用のプリンターが ASCII コードをサポートしているかどうかを、メーカーなどにお問い合わせください。

6

6-3 E-Mail 通知

紙切れ、及びオフラインが発生した場合に、障害情報をメールで受け取ることができます。

注意!! ダイヤルアップ環境での本機能の使用は、お控えいただくことを推奨します。
障害が発生する都度メールサーバーへの接続が行われるため、異常課金の原因となる場合があります。

1 メニューフレームから E-Mail 通知 をクリックしてください。



2 E-Mail 通知機能を使用するかどうか選択してください。

有効にする　E-Mail 通知機能が有効になります。
無効にする　E-Mail 通知機能が無効になります。

3 メールサーバーの IP アドレスを入力してください。

memo プロバイダーに設置されているメールサーバーの IP アドレスは、通常プロバイダーとの契約書などに書かれています。

memo POP before SMTP などの、特殊な認証を行うタイプのメールサーバーでは、正常に機能しない場合があります。

4 配信先メールアドレスを入力してください。
エラーメッセージを受け取りたいメールアドレスを入力してください。

memo 入力できる文字数は、128 文字までです。

memo 複数のメールアドレスを入力したい場合は、「, 」(カンマ)で区切って入力してください。

5 保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerIIに保存され、FPServerIIの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo 再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。



6 再起動を行ってください。(☞「4-7 再起動」p.56)

再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

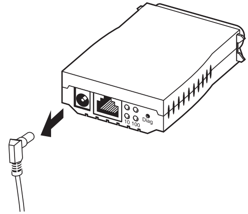
memo 設定内容が正しいか確認する場合は、 テスト をクリックし、正常にメールが送信されることを確認してください。



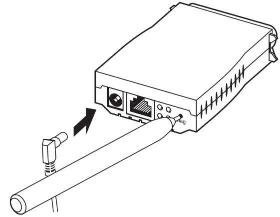
6-4 工場出荷時状態に戻す

設定のミスやパスワードを忘れた場合などに、FPServerIIの設定内容を工場出荷時の状態に戻し、設定をやり直すことができます。

1 FPServerIIからACアダプターのDCプラグを抜いて、FPServerIIの電源をOFFにしてください。



2 Diag ボタンを押したまま DC プラグを接続し、そのまま約 5 秒間 Diag ボタンを押し続けてください。



工場出荷時設定に戻ります。

6 詳細設定編

7 トラブルシューティング

ここでは、本製品使用中のトラブルの代表的な例と、その対処方法について説明します。
主な現象ごとに、その原因と対応方法を説明します。

7-1 FPServerII の設定が正常にできない

■ 設定ページが表示されない

＊ TCP/IP プロトコルがインストールされていない
または設定が正しくない。
→「4-5 TCP/IP設定」(☞ p.52)を参照し、TCP/IPの設定を確認してください。

＊ FPServerII の IP アドレスの設定が正しくない
→IPアドレスのネットワークアドレス部とサブネットマスクを接続するパソコンと一致させてください。

＊ プロキシサーバーが設定されている。
→「D 設定ページが表示されない場合」(☞ p.82)を参照し、Web ブラウザーのプロキシサーバー設定を OFF にしてください。

7-2 正常に印刷できない

■ 正常に印刷できない。

＊ プリンターの設定またはドライバーのインストールが正常に行われていない。
→FPServerIIに接続する前に、パソコンとプリンターを直接接続し、印刷できることを確認してください
詳細は、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください

＊ FPServerII とプリンターが正しく接続していない。
→2 章を参考に、接続方法をご確認ください

＊ FPServerII に対し、プリンターの双方向通信機能を使用している
→双方向通信機能を解除してご使用ください

■ テスト印刷ができない。

＊ 使用しているプリンターが ASCII コードをサポートしていない
→使用しているプリンターがASCIIコードをサポートしているかを付属の取扱説明書、またはメーカーにてご確認ください
一部、ASCII モードをサポートしていても、印刷できない場合があります。

7-3 その他

■ IP アドレスの設定方法がわからない

＊「4-5 TCP/IP 設定」(☞ p.52)を参照し、TCP/IP の設定を確認してください。

■ パスワードを忘れてしまった

＊ FPServerII 本体上のDiagスイッチにて工場出荷状態に戻し、再度設定をやり直してください。

付録

A 製品仕様

電源部	
入力電圧	AC100V（AC アダプターによる、外部電源型）
最大消費電力	2.52W(平均)/2.88W(最大)
消費電流	280mA(平均)/320mA(最大)
プリンター接続部	
コネクター	セントロニクス社仕様に準拠したアンフェノール36 ピン
環境条件	
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下(ただし結露なきこと)
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法	
	57(W)×87(D)×25(H)mm
重量	
	本体約70g(AC アダプターを除く)
取得承認	
EMI 規格	VCCI クラスB

B 工場出荷時の設定

サーバー名	FP******(*はMac アドレスの下6 ケタ)
パスワード	(なし)
NetBEUI 設定	ON
AppleTalk 設定	ON
ワークグループ名	(なし)
レスポンスタイム	0
DHCP	OFF(固定IP アドレス)
IP アドレス	192.168.1.240
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1

C パソコンのネットワーク設定を参照する

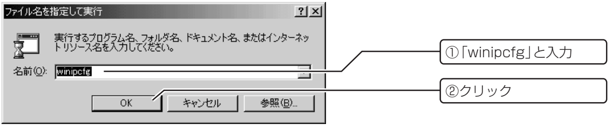
パソコンにどのようなIPアドレス/サブネットマスクが設定されているかを参照する方法を説明します。

Windows Me/98/95の場合：

1 スタート から「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。

ファイル名を指定して実行ウィンドウが表示されます。

2 入力欄に「winipcfg」と入力し、 OK をクリックしてください。



IP設定ウィンドウが表示されます。

3 IP設定ウィンドウのプルダウンリストボックスから、お使いのLANカード名を選択してください。



IP設定の内容が表示されます。



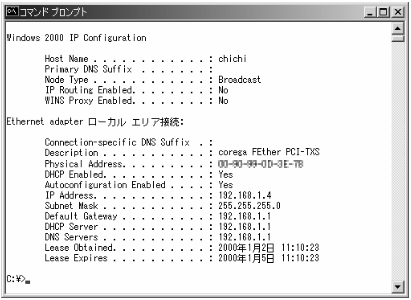
Windows XP/2000/NT の場合：

1 スタート から「プログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」をクリックしてください。

コマンドプロンプトウィンドウが表示されます。

2 「ipconfig /all」と入力し、↵ を押してください。

ネットワーク設定の内容が表示されます。



```
コマンド プロンプト

Windows 2000 IP Configuration

        Host Name . . . . . . . . . . . . : chichi
        Primary DNS Suffix  . . . . . . . :
        Node Type . . . . . . . . . . . . : Broadcast
        IP Routing Enabled. . . . . . . . : No
        WINS Proxy Enabled. . . . . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        Description . . . . . . . . . . . : corega FEther PCI-TXS
        Physical Address. . . . . . . . . : 00-90-99-0D-3E-78
        DHCP Enabled. . . . . . . . . . . : Yes
        Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.4
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.1
        DHCP Server . . . . . . . . . . . : 192.168.1.1
        DNS Servers . . . . . . . . . . . : 192.168.1.1
        Lease Obtained. . . . . . . . . . : 2000年1月2日 11:10:23
        Lease Expires . . . . . . . . . . : 2000年1月5日 11:10:23

C:¥>_
```

付

D 設定ページが表示されない場合

FPServerIIの設定を行う場合は、Webブラウザーの設定が次の条件を満たしている必要があります。

・プロキシサーバーを使用しない設定になっている。
・オンライン作業になっている。(オフライン作業になっていない)

本製品の設定ページが表示されない場合には、次の操作を行ってみてください。

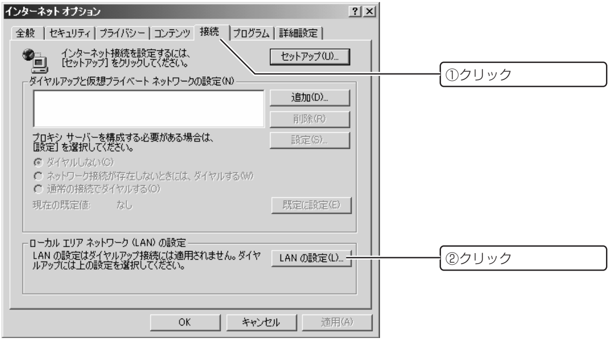
プロキシサーバーを使用しない設定

プロキシサーバーを使用しない設定にする方法について、Internet Explorer 6を例に説明します。

注意‼ 設定を変更する前に、すべての設定内容を紙などに書き写しておいてください。FPServerII の設定が完了したら、設定内容を元に戻す必要があります。

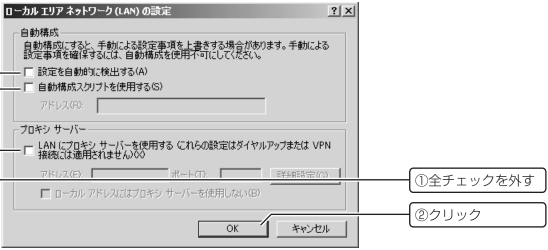
1 メニューから[ツール(T)]-[インターネットオプション(O)...]を選択してください。

2 [接続] タブをクリックし、次に [LANの設定(L)...] をクリックしてください。

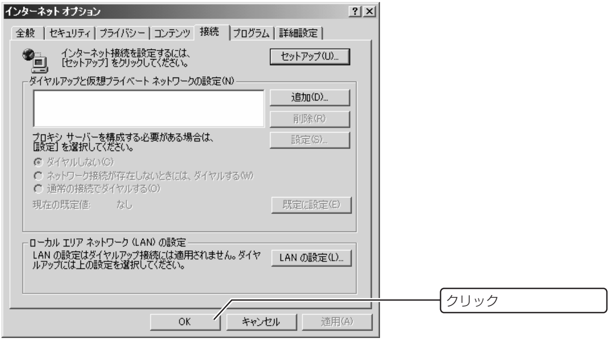


3 すべてのチェックを外し、 OK をクリックしてください。

注意!! FPServerII の設定が完了したら、設定内容を元に戻す必要があります。
設定を変更する前に、すべての設定内容を紙などに書き写しておいてください。



4 OK をクリックしてください。



プロキシサーバーを使用しない設定になります。

注意!! FPServerII の設定が完了したら、元の設定内容に戻してください。
元の設定に戻さない場合、正常にインターネットを利用できなくなる場合があります。

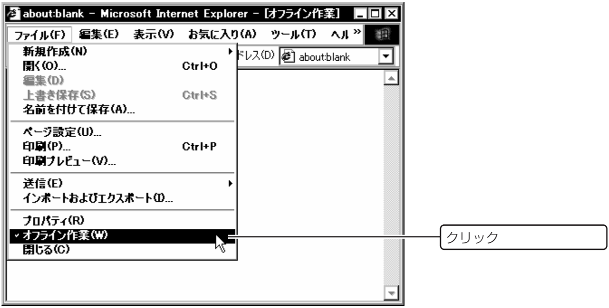
付

オンライン作業にする

Web ブラウザーを起動した際に、タイトルバーに[オフライン作業]と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われません。
このため、本装置を正常に設定することができません。



1 メニューから [ファイル(F)]-[オフライン作業(W)]を選択し、チェックを外してください。



付

E MAC アドレスについて

Ethernetに接続する機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレスを使って通信が行われます。

MACアドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)アドレスです。
MAC アドレスは、下記の 6 バイト(48 ビット)によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています(表記は全て 16 進数)。

00	26	87	XX	XX	XX
ベンダーID			通し番号		

・ ベンダー ID

LANベンダー(LAN用機器を製造しているメーカー)がIEEEに申請することにより得られる識別番号です。

・ 通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は 6 桁の数値となっています。
この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

memo MACアドレスは、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。
また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

付

F 用語集

● AppleTalk

Apple 社製の Macintosh シリーズに搭載されているネットワークプロトコルです。
ファイル共有やプリンタ共有に使用されます。
本機は、EtherTalk 上での AppleTalk をサポートしています。

● Microsoft ネットワーク

Windows98/95 などのサーバーサービスを利用するためのソフトウェアです。
通常、プロトコルには「NetBEUI」が使用されます。

● NetBEUI プロトコル

小中規模のネットワークトランスポートプロトコルです。
NetBEUI は、OSI 参照モデルのトランスポート層及びネットワーク層プロトコルに相当します。
これを、NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現されます。
Windows98/95 などでサポートされています。
Windows XP に関しては、NetBEUI はサポートされていません。

● TCP/IP プロトコル

インターネットで使用されているプロトコルで、OSI 参照モデルのトランスポート層及びネットワーク層プロトコルに相当します。
TCP/IP プロトコルを使用すると、異なるプラットフォームのパソコン同士でも通信することができます。

● 送信速度

送信速度は、無線 LAN ネットワークを構成するパソコンが対応している速度から選択することができます。
帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、「Auto(送信速度自動設定)」に設定しておきます。
「Auto」に設定すると、送信速度はネットワークを構成するパソコンに合わせて自動的に調整され、最適な速度で通信できるようになります。

G おことわり

- 本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
- 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
  また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

2002年　9月　初　版
2010年　3月　第二版

付